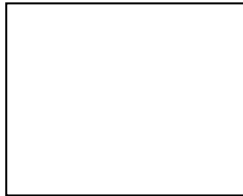


▽ 吉浜 忍 教授 YOSHIHAMA, SHINOBU



学 科: 社会文化学科

担当科目: 沖縄戦、日本史、中学校社会科教育法・演習
人間文化課題研究 I (共通)

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

<p>①大阪教育大学</p> <p>②学士</p> <p>③歴史教育者協議会</p> <p>④新沖縄県史編集委員会委員長 新沖縄県史出版計画検討委員会委員長 新沖縄県史沖縄戦編専門委員会委員長 沖縄県戦争遺跡詳細確認調査委員会副委員長 那覇市文化財調査審議会委員 浦添市文化財調査審議会委員 南風原町文化財審議会委員長 豊見城市史編集委員会委員長 豊見城市史移民編専門委員会委員 宜野湾市史編集委員会委員長 宜野湾市史戦後資料編専門委員会委員長 与那原町史編集委員会委員長 南城市戦時資料編専門委員会委員長 戦没者遺骨収集事業促進協議会委員長</p>

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
<p>1. 教育活動・方法の実践例</p> <p>①沖縄戦</p>	2014年4月～3月	講義内容を理解させるために、沖縄戦に関する史料・証言などをプリント教材化。内容が凝縮されたプリントを毎時間2～5枚作成・配布。また実物資料も使い、沖縄戦理解を深めさせる。

②日本史	2014年4月～3月	教職科目であるため、教材を視点にしたプリントを作成（毎時間3～4枚）し、講義にも発問を取り入れ、また実物教材（モノ教材）も使用。教育現場を意識して教えている。
③人間文化課題研究Ⅰ	2014年4月～3月	共通科目のゼミであり、全学科から受講できる。「そこを掘れ、そこに甘き泉あれ」「歴史は現場にある」をキーワードに、地域の歴史の発見を目標にしている。そのために年間6回のフィールドワークを実施、教室での学びと歴史現場での学びを結合させている。
④中学校社会科教職ゼミ	2014年4月～3月	班をつくり、共同での教材研究・開発・作成・授業づくり、模擬授業の実施と批評会・反省会など多様な学びの場を意識的につくっている。
2. 作成した教科書、教材、参考書	2006年8月	沖縄戦と米軍基地から平和を考えることを目的に岩波書店から『DVDブックオキナワ』を共著で出版。
	2007年1月21日	沖縄の戦争遺跡を平和教育に活用させることを目的に沖縄県平和祈念資料館が企画して、ビジュアル版『沖縄の戦争遺跡』を沖縄時事出版から出版。
	2009年3月30日	宜野湾市の戦後初期の歴史を市民・県民に普及させる目的に宜野湾市教育委員会が企画して、ビジュアル版『宜野湾戦後のはじまり』を出版。
3. 学生支援活動		
①学科、ゼミ行事の支援活動	2014年	学科のMT（1年生宿泊研修）を企画・運営する2年生リーダーの指導。1年次バレー大会、教職ゼミの合宿やバレー大会の企画運営の指導を毎年行っている。
②日常的な支援活動	2014年	オフィスアワーの時間だけでなく、学生が気軽に来室できるように、日常的に研究室を開放。その結果、年間千数百名の学生が来室。学びや悩みの相談などを行っている。
4. 学外での教育活動		
①講演・講座	2009年1月23日	「沖縄の戦跡の現状と課題」（日放労フォーラム）
	2009年6月27日	「宜野湾の戦世」（宜野湾市教育委員会）
	2009年8月2日	「沖縄戦と戦跡保存」（日本生活教育連盟夏季全国研究集会）
	2009年11月14日	「沖縄戦のはなし」（千葉県立木更津高校修学旅行、大学入門講座）
	2010年5月22日	「南風原の沖縄戦」（南風原町ガイド養成講座）

2010年7月6日、7日	「沖縄の歴史と現実」(大阪府立西成高校修学旅行、大学入門講座)
2010年8月4日	「西原の沖縄戦をどう教えるか」(西原東中学校職員研修)
2010年12月22日	「沖縄戦における南風村民の戦死の実相」(南風原町遺族会)
2011年2月4日	「南部避難の実相」(沖縄平和ネットワーク)
2011年2月26日	「戦争遺跡と平和教育」(一フィート運動の会)
2011年2月27日	「久米島の沖縄戦」(久米島郷友会連合会)
2011年5月21日	「与那原の沖縄戦」(与那原町)
2011年7月29日	「豊見城の沖縄戦」(豊見城市教育委員会)
2011年8月25日	「浦添の沖縄戦」(浦添市教育委員会、ガイド養成講座)
2011年9月4日	「南風原の沖縄戦」(南風原町ガイド養成講座)
2011年11月24日	「沖縄戦、宜野湾の戦後」(千葉県立木更津高校、大学入門講座)
2012年2月15日	「宜野湾の沖縄戦・戦後」(西武台千葉高校、大学入門講座)
2012年5月16日	「島ぐるみ土地闘争」(那覇市博物館講座)
2012年6月30日	「豊見城の沖縄戦」(豊見城市教育委員会文化講座)
2012年7月14日	「沖縄戦ー壊滅から復興へ」(沖縄国際大学うまんちゅ講座)
2012年9月8日	「沖縄戦ー弱者の立場から」(第61回ろうあ者大会)
2012年9月15日	「南風原の沖縄戦」(南風原町ガイド養成講座)
2012年9月22日	「宜野湾の戦争・戦後」(沖縄大学学生有志、学外講座)
2012年9月23日	「沖縄の戦争遺跡」(首里公民館、学外講座)
2012年10月15日	「沖縄戦・戦後の宜野湾」(静岡県立掛川西高校、大学入門講座)
2013年5月13日	「普天間飛行場」(宮古島市狩俣小学校、大学入門講座)
2013年5月31日	「地域における沖縄戦」(沖縄県地域史協議会)
2013年6月30日	「沖縄の戦争遺跡」(宜野湾市立博物館講座)
2013年7月27日	「沖縄戦の教訓をいかに次世代に継承するか」(沖縄県平和祈念資料館)
2013年12月14日	「宜野湾のいくさ世」(沖縄社会福祉研究所はごろも長寿大学)
2014年3月20日	「大東諸島の沖縄戦」(沖縄国際大学南島研究所大東諸島総合調査報告)

<p>5, 教育改善活動</p> <p>①2010 年度授業評価アンケート</p>	<p>2010 年</p>	<p>講義科目である日本史、歴史学 I・II についての授業評価アンケートの結果は、本学の平均値より高いが、低い数値の項目については改善し、学生が理解できる講義をすることを心がけている。</p>
<p>②授業改善計画書の提出</p>	<p>2010 年</p>	<p>指定科目である一年生ゼミの「授業改善計画書」を提出。改善点や今後有効的だと思われる点を、系統的・実践的に取り組みたい。</p>

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】(2004 年度～2013 年度)

<p>2004 年 「沖縄作戦における軍事施設の現在」 (沖縄国際大学社会文化学会『社会文化研究 第 7 巻第 1 号』)</p> <p>2004 年 「沖縄の忠魂碑の調査・研究」(沖縄国際大学南島文化研究所『南島文化 第 26 号』)</p> <p>2004 年 「『陸軍病院壕』保存活用の取り組み」(群馬評論社『群馬評論 第 99 号』)</p> <p>2005 年 「宮古地区の沖縄戦」 (沖縄県埋蔵文化財センター『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査宮古諸島編』)</p> <p>2005 年 「『黒い壁』の保存と文化財指定」(草土社『沖国大がアメリカに占領された日』)</p> <p>2005 年 「地域の戦争体験・戦争遺跡の掘り起こし運動」(法律文化社『オキナワを平和学する』)</p> <p>2005 年 「南風原陸軍病院壕の町文化財指定から 10 年」 (戦争遺跡保存全国ネットワーク『平和戦争遺跡』21)</p> <p>2006 年 「満州」(沖縄県南風原町『ふるさと離れて 南風原町史第 8 巻 移民・出稼ぎ編』)</p>

- 2006年 「ヒトとモノが語る沖縄戦」(全国保険団体連合会『月刊保団連 No.907』)
- 2006年 共著『沖縄戦と米軍基地から平和を考える』(岩波書店)
- 2007年 「強制土地接収」「島ぐるみ土地闘争」
(琉球新報社『アメリカ世から大和世へ 那覇市史通史篇第3巻』)
- 2007年 「次世代への沖縄戦継承の秘策はあるのか」
(沖縄県歴史教育者協議会『歴史と実践 第28号』)
- 2007年 「戦争遺跡にみる沖縄戦」(沖縄時事出版『沖縄の戦争遺跡』)
- 2008年 「証言からみる戦後の宜野湾」「飛行場北」「飛行場南」「飛行場東」「飛行場南」
(宜野湾市教育委員会『宜野湾市史 八 資料編七 戦後資料編I』)
- 2008年 「沖縄県における戦争遺跡の保存活用」
(沖縄国際大学社会文化学会『社会文化研究 第11巻第1号』)
- 2009年 「解説 戦後初期の宜野湾」(宜野湾市教育委員会『宜野湾戦後のはじまり』)
- 2009年 「日中戦争」「強化される戦時体制」「第三十二軍の編成と沖縄配備」
「アイスバーグ作戦と北中城」「捕虜と収容所」「マーフィン資料解説」
(北中城役場『北中城村史 第四巻 戦争・論述編』)
- 2010年 「沖縄における御真影と奉安殿に関する文書資料」
(沖縄国際大学南島文化研究所『久米島調査報告書(2) 地域研究シリーズNo.37』)
- 2010年 編著『沖縄陸軍病院南風原壕』(高文研)
- 2011年 「近代沖縄の軍備—軍事施設を中心に」(沖縄県教育委員会『沖縄県史 各論編 第五巻 近代』)
- 2011年 「戦争への道のり」「第三十二軍の編成と沖縄配備」「戦場となった与那原」(与那原町委員会『与那原の沖縄戦』)
- 2012年 「はじめに」「戦闘部隊」「海軍電報」(沖縄県教育委員会『沖縄県史 資料編23 沖縄戦日本軍史料 沖縄戦6』)
- 2012年 「戦跡の文化財指定を考える」(国立歴史民俗資料館『歴博No.175』)
- 2013年 「沖縄戦への道」「南風原の沖縄戦」「第27野戦防疫給水部」「野戦貨物廠・野戦兵器廠」「野戦重砲兵第23連隊第4中隊」「福峯衆一資料」「満州農業移民」「満州開拓青少年義勇軍」(南風原町教育委員会『南風原町史第9巻戦争本編 戦世の南風原』)
- 2013年 「沖縄戦壊滅から復興へ—宜野湾村行政文書にみる戦後初期の宜野湾」(沖縄国際大学公開講座委員会『世変わりの後で 復帰40年を考える』)

研究分野

沖縄近現代史

【Eメール・ホームページ等】

Eメール sinobu@okiu.ac.jp

2014年4月1日現在